

# 看護職キャリアパス支援センター

Nursing Career Path Support Center



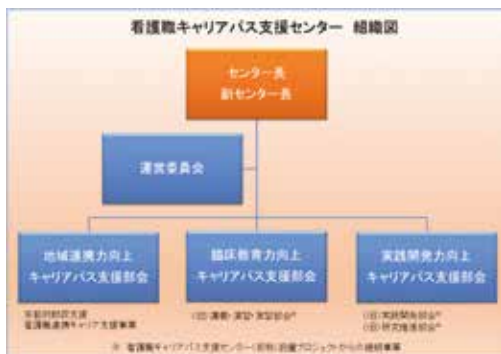
## 病院と学部、地域医療機関等との相互人材交流推進で、総合的な看護力の底上げを！ さまざまな看護形態シーンに対応可能な、 足腰の強いジェネラリストを養成します

看護職キャリアパス支援センターでは、京都大学医学部附属病院と京都大学医学部人間健康科学科並びに地域医療機関等との間で相互の人材交流を推進する事を目的とします。特に、地域医療機関等との相互人材交流の推進においては、京都大学医学部附属病院から他施設への看護師等の長期派遣、並びに他施設から京都大学医学部附属病院への長期受入れを行う人材交流システムを確立する事により、京都府下における看護師等の人材交流を活性化させ、医療機能分化における施設間連携に強い看護師等の養成を目指します。

### 業務内容の特徴と実績

#### 3つの部会で、看護師のキャリアアップを多方面からサポート

当センター準備プロジェクトではかねてより、看護部・人間健康科学系専攻間での人事交流の仕組みづくりを行ってきました。



#### 臨床教育力向上キャリアパス支援部会

院内で行われる各種研修における講義の一部を、学部・大学院の教員が担当しています。

中でも実習指導者研修では実習指導者のレベルアップに向けた支援体制が整備され、その成果が現れています。また、最新のエビデンスを確認しながら、共同で看護業務手順の開発・更新も行っていきます。

一方、学部の演習・講義には臨床の看護師がファシリテーターや講師として参加しており、学部生が臨床現場をイメージしやすい学習環境作りに協力しています。

#### 実践開発力向上キャリアパス支援部会

看護部、看護科学コース双方が積極的に交流し、共同研究できる環境を整えることによって、実践の場に還元できるような質の高い看護研究に取り組むことをめざしてきました。

毎年、エビデンスの発信に主眼を置いて京大看護研究交流集会を開催しています。

#### 地域連携力向上キャリアパス支援部会

近年、医療法の改正に伴って病院の機能分化(高度急性期、急性期、回復期リハビリテーション、慢性期(長期療養)、在宅療養等)によって生

じたギャップを埋め、継続医療・継続看護を推進するための取り組みとして「施設間の連携に強い看護師養成プログラム」をスタートさせました。

機能の異なる病院間の人材交流によって、それぞれの現場を知り、お互いの強みを活かすことで質の高い看護、チーム医療が提供できるのではないかと考えています。

当部会は、その「橋渡し役」として機能して参ります。



2015年4月より既に京都府の支援を得て、丹後・中丹・南丹・山城北医療圏の各医療施設へ、それぞれ1~2名を地域医療期間への長期派遣事業を開始しました。

この事業を通して、どの医療機能からのスタートであっても、すべての看護職が足腰の強いジェネラリストとして成長できる仕組みを構築するとともに、地域包括ケアの担い手として施設間の連携に強い看護師が中心となり、ますます地域医療を牽引していくことを期待しています。

医療機関の垣根を越えて、「まもり、とどけ、つなぐ」看護職の育成が、京都府全体の、ひいては日本全体の看護力の向上につながっていくことでしよう。